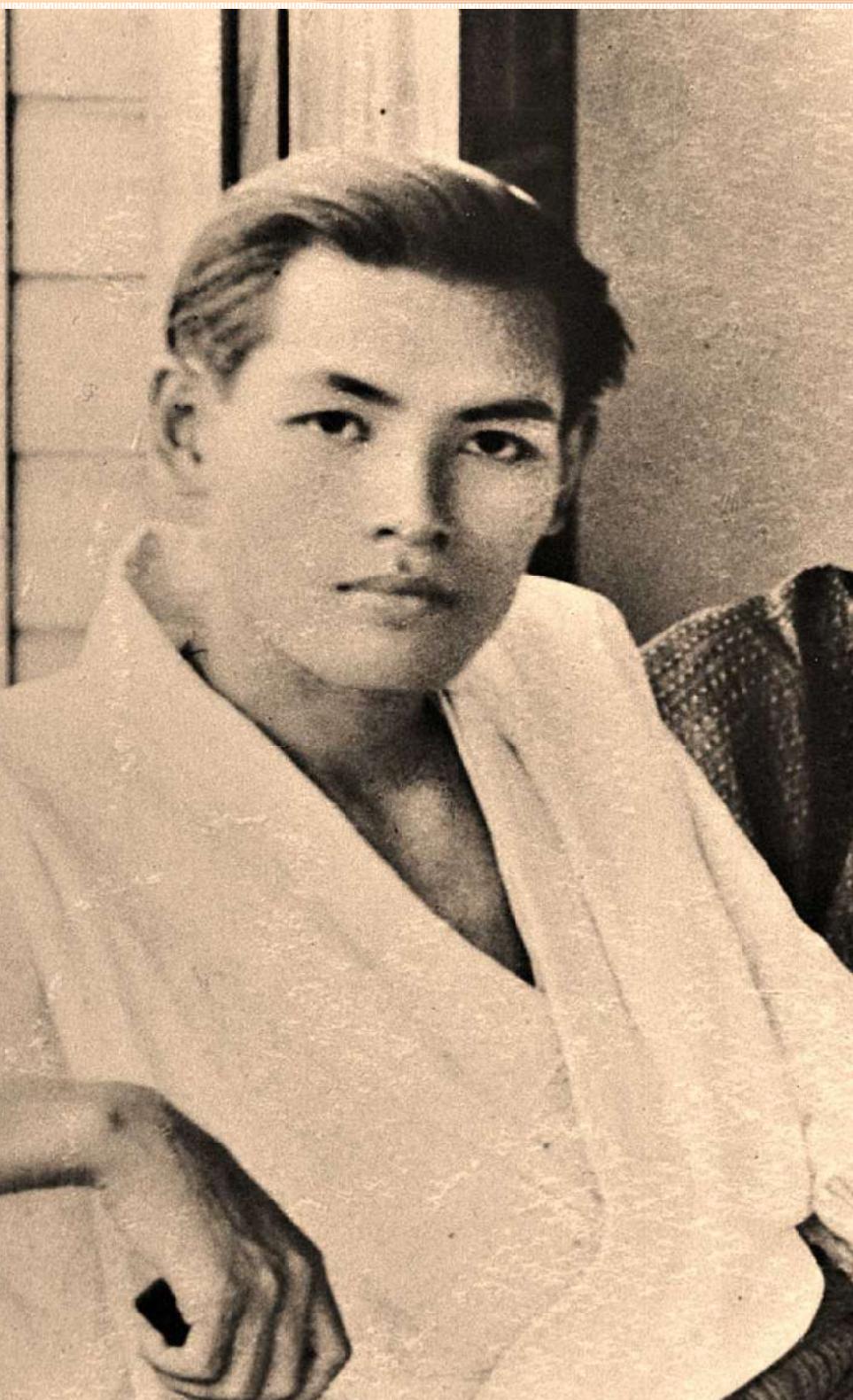


日本一幸せな
健康長寿社会を目指す
天草の地域情報誌

※のさる…「天の恵みを授かる」の意味

のさる新聞

【名称】のさる新聞（無料）
【編集】花咲 実
【発行者】幸せラボ
【所在地】天草市古川町1-8
【電話】0969(23)3839
【制作】のさる出版
《平成26年4月18日初版発行》



横田 良一

よこた りょういち

悲劇のスター



東海林太郎

淡谷のり子

服部良一

ディックミネ

島田馨也

藤山一郎

横田良一の故郷
二浦町亀浦地区太田

昭和初期、天草で最初にレコードデビューした横田良一は、才覚、実力とも兼ね備えて20代で彗星のごとく音楽界にデビュー。しかし、いよいよこれからという時にわずか24才の若さでこの世を去った天草が生んだ幻のスターとされています。

同年代の綺羅星のごとく輝いたスターたちには、服部良一、藤山一郎、淡谷のり子、島田馨也、東海林太郎、ディックミネ等がいました。

常に郷土天草を愛して誇りを持ち、天草の自然、人、歴史、文化の素晴らしさを、歌手として日本中に知らしめる大志を抱いた横田良一の心は、いまも「天草小唄」として天草を愛する多くの人達に歌い継がれています。

余りにも劇的で、悲しい人生であり、同時に偉大な人生であつた横田良一。24才で急逝したが、生きていれば日本を代表する大スターになつたといわれるその訳は。

天草が生んだ大物歌手

横田良一（本名中道實穂）は、明治44年9月10日に下島の南部に位置する天草郡亀浦村太田（現在の天草市二浦町亀浦地区太田）に生まれました。

横田良一（なかみちじつほ）は、明治44年9月10日に下島の南部に位置する天草郡亀浦村太田（現在の天草市二浦町亀浦地区太田）に生まれました。

本渡から牛深に車で向かう途中、羊角湾を通り過ぎて右側に曲がると二浦町に入りますが、二浦町は早浦と亀浦の2つの地域になり、横田良一の故郷である亀浦の太田は石神山の南側の盆地に位置します。この地域の奇異な特徴は、二浦町亀浦を越えた西海岸には天草町大江迎があります。地理的には旧牛深市二浦町と魚貫町がある場所にポンと旧天草町の行政区があるので、そこは、最近話題になつてゐる「青の洞窟」がある場所で、天草の寒村の最たる地域でした。ともあれ、横田良一は幼い頃からこの地域で、伸び伸びと育つたのでした。

横田良一と天草の心

横田良一が天草を思う深い郷土愛から、雲仙国立公園に天草が編入される運動のテーマソングとして「天草小唄」が誕生しました。

横田良一という人

横田良一（本名中道實穂）の住んだ龜浦村太田は僻地で稼げる仕事はありませんでした。そのため父母は生計を立てるため弟妹たちを連れて北九州市八幡に出稼ぎにでました。

横田良一は長男で一人太田に残り、祖父母の寵愛を受け育てられました。そのせいもあり、自分が思い立ったことは、何でもその思いに従つて行動する性格でした。祖父母も孫可愛さに何でも買い与えていたといわれます。

例えば、小学生の頃の横田良一は成績優秀でずっと級長でした。しかし、さらに天賦の才を伸ばすため、祖父は大正時代の龜浦で家庭教師を招いて学習をさせました。

欲しいものは何でも手に入れる性格で、中学生になつて八幡の父母の家で暮らしていだ時、ある朝、頭痛がしたので薬箱を開けると、中に 50 円が入っているのを見つけた横田良一は、それを持つてそのまま列車に飛び乗り東京まで行つたそうです。（当時の八幡から東京間の汽車賃 10 円）

その後、お金が尽きたら、

そのまま東京で働いていて、立場でしたが、横田良一は全く意に介していませんでした。で働きながら夜学で学ぶ」とのハガキを出したため、びっくりした父親がすぐさま東京に連れ戻しに行きました。

見方によれば、わがままで、破天荒で、坊ちゃんです。

しかし、何のためらいもなく実行に移す行動力は、若くして大成する可能性が秘められていました。

一方で横田良一は、誰に対しても分け隔てなく接する優しい人物でした。

横田良一が 22 才（昭和 8 年）に「天草小唄」がコロンビアレコードから発売されました。

牛深町の阿波屋旅館に泊まり、翌日小講堂で徵兵検査を受けました。

現在の警察以上に威厳がある立場でしたが、横田良一は全く意に介していませんでした。徴兵検査の日の夜、宿屋の阿波屋旅館には、徴兵官や他の志願者が宿泊していました。志願者が宿泊していましたが、徴兵官の宴席となり横田良一が有名な歌手と知り、何度も宴席に来て歌を歌うようになり、天草にもその機運が高まり、「天草国立公園期成会」や地元新聞「みくに社」の協力を得て横田良一はテーマソング「天草小唄」の歌詞を募集。その時、當時熊本市職員の平野雅軒氏の歌詞が採用され、「天草小唄」ができました。

横田良一は「馬鹿にするな」と断りました。横田良一は「馬鹿にするな」と断りました。

しかし、その後旅館のすべての窓を開けさせて、今日で別れの志願兵のために、自分の部屋の窓から新曲を次々と声高らかに歌つたのでした。

牛深の繁華街の通りでは、その美しい歌声に多くの人々が立ち止まって黒山の人だからりができ、皆が聞き惚れています。そうです。

横田良一と同様に、天草人には独自の強い郷土愛があります。他の地域と違つて周りを海に囲まれた小さな島国独自の気風なのかもしれません。

天草の先人達の中には、求心的な郷土愛の強さと共に、遠心的なパワーで「天草の心」をいろんな分野で表現した偉人達が多くいます。

横田良一だけではなく、天草を心から愛して止まなかつた先人たちが各方面で活躍しました。ここでは近世の偉人たちをご紹介します。

横田良一の心

雲仙が日本初の国立公園となり、天草にもその機運が高まり、「天草国立公園期成会」

なり、天草にもその機運が高まり、「天草国立公園期成会」

なり、「天草にもその機運が高まり、「天草国立公園期成会」

なり、「天草にもその機運が

天草偉人図鑑

ここに紹介する人々は、江戸幕末期から明治・大正・昭和時代を代表する天草の偉人たちです。彼らに共通しているのは、天草を心から愛していて、誰にも負けないプライドを持っていたことでした。

あなたは、天草の偉人を何人知っていますか？

	ながおかおきなり 長岡興就 <享年53才>1816年-1869年 御領出身。細川忠興公とガラシャ夫人の子孫。御領組大庄屋で、16歳で11代目の大庄屋になった。その時代の天草は、自然災害や幕府の重い年貢などで百姓が苦しみ、その惨状を放置できず、弘化の一揆の首謀者となり、江戸に出向いて老中に駕籠訴をした。細川家の子孫と分かり、長崎まで駕籠で送られ、余生は佐伊津で幽閉生活を送る。		うらたただ 宇良田唯 <享年63才>1873年-1936年 牛深出身。日本人女性として初めてドイツで医学博士の学位「ドクトル・メディツィーネ」を授与された。1899年に医籍登録し、牛深で開業。その後、北里柴三郎博士の勧めで、中国の天津で25年にわたって総合病院を営み、長年にわたって貧富を問わず、病気に苦しむ人々を助けた。戦時中であっても宇良田唯の治療を受けた中国人は、唯を大切に守った。
	ながたりゅうざぶろう 永田隆三郎 <享年80才>1770年-1849年 栖本出身。古江の庄屋。長岡興就らと共に、天保の飢饉や、爆発的な人口増大に伴う重税に苦しむ島民を救うため、弘化の一揆の指導者となり、農民たちを率いて銀主宅を打ちこわす。その思いの根底には「法界平等」という、すべての民はみな平等という思想があり、現在もその碑が古江に建っている。一揆は鎮圧され、永田隆三郎は斬首刑で死す。		ささき 佐々木ツル <享年88才>1898年-1986年 牛深出身。昭和19年8月7日、軽巡洋艦「長良」は牛深沖で米潜水艦「クローカー」の魚雷で撃沈。遠く北陸出身の戦死者を、佐々木ツルは行商で得た私財や寄附により牛深「ボラ山」に供養塔を建立し独りで供養を続けた。慰靈を世間に知られることを嫌い、碑には自らの名前を入れることさえ拒んだ。後にクローカー元船長から感謝の手紙と寄付が届いた。
	こやまひでのしん 小山秀之進 <享年69才>1828年-1898年 大島出身。勝海舟、坂本竜馬、グラバーとともに洋風建築を手掛けて長崎を中心に活躍した。グラバー邸、オルト邸、後に世界遺産となる大浦天主堂、三角西港等の建設により困窮する天草の人々を雇つて貢献する。子孫は中央新町出身でくまモンの生みの親であり日本初の米国外国部門アカデミー賞受賞映画「おくりびと」の脚本を書いた小山薰堂氏。		ガルニ工神父 <享年81才>1860年-1941年 フランス出身。文学紀行文『五足の靴』では「パテルさん」(「神父」の意)と地元で親しまれ、自らも天草弁を話していた。生涯一度も祖国フランスに帰らず、孤児院で多くの恵まれない子供達を救った。昭和8年に私財を傾けて大江天主堂を建立。臨終の際、「墓石に金をかけるな。墓をつくる金は病人や困った人に与えてくれ」という言葉を残して天に召す。
	みちながえい 道長栄 <享年67才>1860年-1927年 大矢野出身。俗称:おロシアお栄さん。12歳の頃長崎へ移り、シベリア・上海へもロシアの軍艦で渡り、長崎に落着いた後はホテル業で国際親善に尽した。ニコライ皇帝やロシア陸軍大臣クロパトキン、旅順要塞司令官のステッセル将軍等をもてなした。後に日露戦争が起り、捕虜だったステッセル将軍を紋付きの礼装で迎え、極上の紅茶で丁重に対応した。		もりじしゅう 森慈秀 <享年83才>1890年-1973年 湯島出身。上海に渡航して財を成した。1935年には天草郡区から熊本県議会議員選挙に初当選し、三角と大矢野島に橋を架ける構想を提案したが、周囲の反応は冷ややかだった。1958年68歳で大矢野町長に就任し、1966年9月24日に天草五橋が開通した。1970年4月には3期12年を務めた大矢野町長を退任し、在任期間中の給料全額を大矢野町に寄付した。
	あかさきでんざぶろう 赤崎伝三郎 <享年77才>1871年-1946年 高浜出身。アフリカ東岸のマダガスカル島に出稼ぎでホテルを経営。1904年(明治37年)10月15日、バルト海を出港したバルチック艦隊がマダガスカル島に寄港した同年12月29日、その様子を赤崎伝三郎が見ていて、戦艦の種類や隻数、艦隊が積み込んだ石炭や水、食糧の量を極秘に調査し、急ぎインドのポンペイ日本領事館に打電し、戦勝に貢献した。		もりくにひさ 森國久 <享年49才>1912年-1961年 横島出身。1930年に新聞記者となり、1935年に警察官として就職した。1946年に公職追放の該当者とされ、依願退職に追い込まれた。1951年5月天草郡横島村の村長選挙に出馬し当選。彼は住民との対話を重んじ、その思いや希望を政策に反映することを重視した。晩年は全国の離島の振興に力を注ぎ、森慈秀と共に天草五橋の実現に尽力した。
	まつしたみつひろ 松下光廣 <享年87才>1897年-1984年 大江出身。15歳で天草から仏印(現在のベトナム)へ渡り、その後、商社「大南公司」を設立して、大成功をおさめた。松下光廣は、仏領の植民地として虐げられていたベトナム人に共鳴し、日本にいる国王クオン・デラ祖国独立を目指す革命家らとベトナム独立のために働いた。彼の多大な功績によりベトナムは後に仏領植民地から独立国となった。		そのだすなお 園田直 <享年71才>1913年-1984年 一町田出身。終戦時特攻隊で生き残った事を悔いて生涯命を国に捧げる決意をした。1947年衆議院議員初当選。1960年日米安保に自民党员でただ一人反対し、日本国の独立自尊を主張した。1967年厚労大臣として初めて水俣を訪れ患者と家族に謝罪した。1978年田中角栄首相時代、外務大臣として奇跡的な日中友好平和条約を締結した。

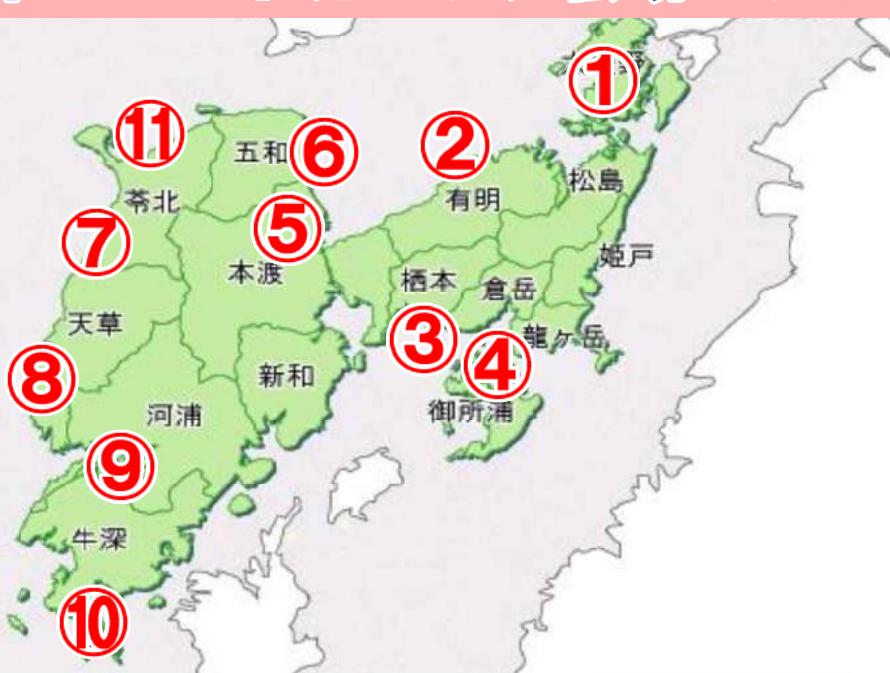
【スマートカレッジ10月開講】 (全6回講座受講者募集)

受講希望者募集要項

これからスマホの基本から学びたい方や、地域の様々な活動でスマホを活用したいと思う方を募集いたします。天草全島の会場で開催致しますので、ご希望の方は最寄りの「受付連絡先」にお申し込み下さい。

- 【対象】老人クラブ・婦人会・スマホを習いたい人
- 【期間】令和5年10月～11月(全6回講座)
- 【会場】島内全域11会場(下図を参照)
- 【定員】最大24名まで
- 【内容】入力の仕方、LINE、グーグルアシスタント、必要アプリなど
- 【会費】3千円(全6回分)
- 【備考】その時の状況により開催日時が変更になる場合があります。

天草スマートカレッジ会場マップ



	校名	会場	受付連絡先	スマホのご相談
上天草市	①大矢野校	大矢野町老人福祉センター	宮本 稔 090-7163-1281	
天草市	②有明校	天草市社協有明支所	佐藤 香織 0969-53-0110	
	③栖本校	栖本福祉会館	梅川 定喜 090-2096-7017	
	④御所浦校	御所浦北コミュニティセンター	大野美津喜 090-4359-5536	
	⑤本校(本渡)	天草市社協本渡支所	吉永 繫敏 080-5280-8325	
	⑥五和校	御領コミュニティセンター	酒井 迪臣 080-1759-6402	
	⑦下田南校	下田南コミュニティセンター	藪本 房雄 090-8774-3181	
	⑧大江校	大江コミュニティセンター	橋野 君佳 090-5487-4434	
	⑨河浦校	河浦町老人福祉センター	森田 哲雄 090-5479-1081	
	⑩牛深校	牛深地区コミュニティセンター	杉本 淳一 080-5255-3379	
	⑪坂瀬川校	坂瀬川公民館	金子 孝昭 0969-37-0231	
芥北町				【お問合せ先】 080-4741-1887(山口)

はじめての「スマホ体験会」

スマホを使うと心が若返ることをご存じでしたか？



スマホでLINEを使うと、遠い所に住んでいる親族や友達と毎日無料で楽しくやりとりができます。それが生きがいとなり心がどんどん元気になります。一度みんなで体験してみませんか？

- 【期日】2日間(2時間×2日間)
- 【会場】最寄りの集会場
- 【参加費】無料
- 【定員】10名(天草市内在住者)
- 【持参品】筆記具(テキスト進呈)
スマホは10台まで貸出可能です。
- 【申込み】地域で受講者が約10名集まればいつでも申込みができます。
(老人会に限らず受講できます)
- 【受付】天草市老人クラブ連合会
事務局次長 山口誠治
電話 080-4741-1887
- 【主催】天草市高齢者支援課
- 【受託業務】天草市老人クラブ連合会

スマホのご相談



スマホに関する様々なお悩みごとで、お店に行くのも大変な方のために、ご相談にのります。できるだけ安く機種を購入したり、月々の契約料金等を見直したい方も、お気軽にご相談ください。



【お問合せ先】
080-4741-1887(山口)

特集 「天草サークス」の天草ショーゴさん



団長 天草ショーゴさん

夢は国際的なエンターテイメント

天草にサークス団を創り、世界に向けて
発信しようと志す天草ショーゴ(33才)さん。
その大志を聴くと、胸がワクワク躍ります。

かつて天草には九州の三大市といわれるほど大規模な本渡の市がありました。

天草中の人たちが満員バスで押し寄せて東京浅草の縁日をしのぐほどの賑わいで、サーカスや見世物小屋や出店が所せましと立ち並んでいました。

文化芸能の栄える街は繁栄します。かつての天草がそうでしたが、今の天草はその逆で右肩下がりの感じがします。

そんな中に、生糀の天草生まれで天草の

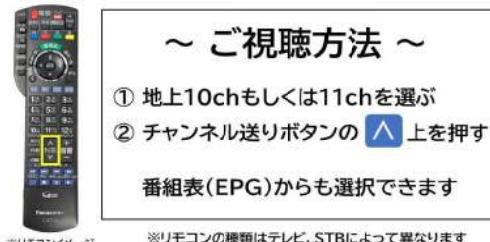
天草ケーブルネットワークでは道路情報をはじめ、天草のニュース、話題を毎日放送中！

本渡・亀場・志柿・有明・大矢野・松島・姫戸・龍ヶ岳など、天草市・上天草市の国道266号・324号の状況がリアルタイムで確認いただけます。



地上10・11ch、あ～ぶるチャンネル1・2のサブチャンネルからご覧いただけます。
リモコンの選局（チャンネル上下）ボタンを押すか、電子番組表EPGボタンからご覧ください。

このチャンネルが見れるのは、“ケーブルテレビ”だけ！



※ご視聴・ご加入お
問い合わせは、
0969-22-1311
又はホームページから

みつばちラジオ「花咲実の幸せのカフェめいどサロン」では、地域の皆さんとの楽しいトーク番組をお届けしています。

■月～金 5時～5時30分・14時30分～15時(再放送)
■土曜日 総集編(1週間分) 5時～7時30分



天草サーカス団員

自然と人と文化が大好きな天草ショーゴさんが、天草を国際的なエンターテイメントの島にする大志を抱いて、「天草サークス団」を立ち上げました。

子供たちに夢と感動を与える天草オリジナルのエンターテイメントを創り、世界に発信し、世界中から天草に人が訪れる仕掛けをしています。

サーカスの語源はサークル（輪）

天草ショーゴさんがいうには、サークルの語源は「サークル（輪）」であり、誰もが好きな時、好きな形で参加でき、ある人は演じる側、ある人は観る側で、特別にルールがないのがルールだそうです。

世界中に有名なサークスがある中に、天草サークスが目指すのは、学校に行けずに苦しんでいる子供たちに生きる勇気と喜びを与え、自分の力を信じて自信を持って生きれるようになる、そんな素晴らしいエンターテイメントを目指しています。

これは単なるイベントではなく、人の生き方に大きな影響を与える体験です。

そんな大志を抱いた素晴らしい若者たちが天草で活躍していることを知ると、天草の未来はとても明るいです。

これから起こる夢のような「天草サーカス」のムーブメントを天草中で応援したいです。そして、天草の心を世界中に伝えていきたいです。

ほっと安心サポート事業

人と人が地域でつながる 地域通貨券



日常のちょっとした困りごとを地域の中で支える会員登録制の仕組みです。その縁結び役になるのが、地域通貨券です。お手伝いしてもらったお礼に、お願いした人からサポートした人に渡します。1回のサポートの目安は、20分で200円の金券1枚の利用になります。

また、地域通貨券は、各地域の加盟店で1枚200円の金券として使えます。

例えばこんなお手伝いが出来ます

- ・買い物代行
- ・ゴミ出し
- ・庭の手入れ
- ・草むしり
- ・掃除
- ・話し相手
- ・その他日常生活
- での困りごと



会員募集中

●ほっと会員

困りごとのある人
登録料無料
※地域通貨券を購入

●サポート会員

協力できる人
登録料無料
保険加入
※保険料は社協負担



会員登録やお問い合わせはコチラ

支 所 名	住 所	電 話
本渡支所	天草市亀場町亀川1886番地2	(0969) 24-0100
牛深支所	天草市牛深町2286番地103	(0969) 72-2904
有明支所	天草市有明町赤崎2010番地9	(0969) 53-0110
御所浦支所	天草市御所浦町御所浦3527番地	(0969) 67-3782
倉岳支所	天草市倉岳町棚底1997番地	(0969) 64-3895
栖本支所	天草市栖本町馬場179番地	(0969) 66-3367
新和支所	天草市新和町小宮地669番地1	(0969) 46-3770
五和支所	天草市五和町御領2943番地	(0969) 32-1076
天草支所	天草市天草町高浜南488番地1	(0969) 42-0678
河浦支所	天草市河浦町白木河内223番地12	(0969) 76-1401

令和五年秋の運勢判断



巳(み)	辰(たつ)	卯(う)	寅(とら)	丑(うし)	子(ね)
变化や新旧交代のある時期で、今まで悪かった事が良くなりそう。基本方針を変更したり、新しいやり方を採用すると良い結果を生む。転職や引越しも良い。古いものを捨てて新しいものを取り入れるべき時。心機一転の時運。	集中しく、散漫になりやすい時。独立よりも共存を選んだ方が良さそう。K！常に笑顔を忘れず陽気な気持ちが運勢を良くする。	いつもより慎重に、よく見直したほうが良さそう。燃え上がり燃え尽きるのではなく、じわじわと永く燃え続ける、継続する精神が大切な時。	和藹(わいあい)で良い感じ！現状維持に努めましょう。これまでの努力が結実しそう。また、新しく始めることが良さそうだ！	いつもより慎重に、よく見直したほうが良さそう。燃え上がり燃え尽きるのではなく、じわじわと永く燃え続ける、継続する精神が大切な時。	見栄えが良い状態。実益を伴わない名譽や学問研究には吉相。人目につく事裝飾品を用いたり教養を磨くのが吉。身なりを整え、言葉を丁寧に使い、人に親切にすると、良縁がやってくる。
人や物が集まつて来て、景気良く賑やかな様子。お金も集まつて来る運気があるので、仕事関係も良い感じ。貧乏臭いやり方はケチがつく。どーんと派手にやるのが効果的。イベントやレジヤーが盛んになりそうな気配。	きつく固かつたものが緩まる。困難から解放される。堅固だったものが解消される。早めに行動した方が良い。チャンスは滅多にやつてこないので、「これだ！」と感じたら、思い切ってトライするのが良い。	進みそう。少しくらいなら欲張りもOK！常に笑顔を忘れず陽気な気持ちが運勢を良くする。	和藹(わいあい)で良い感じ！現状維持に努めましょう。これまでの努力が結実しそう。また、新しく始めることが良さそうだ！	きつく固かつたものが緩まる。困難から解放される。堅固だったものが解消される。早めに行動した方が良い。チャンスは滅多にやつてこないので、「これだ！」と感じたら、思い切ってトライするのが良い。	見栄えが良い状態。実益を伴わない名譽や学問研究には吉相。人目につく事裝飾品を用いたり教養を磨くのが吉。身なりを整え、言葉を丁寧に使い、人に親切にすると、良縁がやってくる。
家庭円満。運気的には平安な感じ。外に打って出るよりも、内助の功に力を入れたり内輪の結束を堅固なものにする方が良い。本業に力を注ぐべき。自分の分をわきまえてそれを守るのが良い。家庭的なイメージを生かすと良い。	進もうと思つても進めないので、止まつて時機を待つのが良い。一息入れるのは吉。同じ事を繰り返すことになるかも。目標を一つに絞り、それに向かって努力を積み重ねて行くのが良い。急がず慎重に行くと良い結果ができる。	口は災いの元。舌禍に注意。間に人を入れず、直接交渉するのが良い。達成にはもう少し時間がかかりそう。向こうの出方を待つより、自分から打つ出ること。知性や教養を身につけるべく努力するのは良い。	精神的な事柄には良いけど、物質的には満たされないかも。学問・教養にすることは吉。他人の目を気にしたり、ビジュアルを重視するのは悪くない。	計画を実行に移す時が訪れたところ。ぐずぐずしていたらチャンスを逃すので積極的に取り組む。思い付きを具体化すること、例えば発明や広告、報道、企画などの仕事にツキがあるかも。うわさより事の真偽を確かめること。	進もうと思つても進めないので、止まつて時機を待つのが良い。一息入れるのは吉。同じ事を繰り返すことになるかも。目標を一つに絞り、それに向かって努力を積み重ねて行くのが良い。急がず慎重に行くと良い結果ができる。

占陰
術陽



平安時代の陰陽師 安倍晴明が用いた抜群の
的中率を誇る陰陽占術を用いて、あなたの
干支の現在の運勢を占いました

干支開運判断

幸せをかみしめる

その日、ヒロシさんは家に帰ると「ただいま」と、妻に明るく元気に声をかけました。妻はちょっと戸惑いましたが、にっこり笑顔で「おかえり」と返事をしました。

同じように、子供たちにも「ただいま！」と微笑んで挨拶をすると、子供たちは満面の笑みを浮かべて「おとうさん、おかえり！」と駆け寄ってきました。ヒロシさんは、何ともいえない喜びをかみしめて、子供たちの頭をなでました。

食事の時には、「今日はどうだった？」と家族の様子を聞きました。すると、妻はニコニコしながら「今日はスーパーで安売りしてたよ」と買い物の話をしました。

子供たちは「今日は、苦手なテストがあったよ」と学校の話をしました。ヒロシさんはうなづきながら「そなんだ」と、今まで聞いたことがない学校の先生や同級生の話を聞きました。

ヒロシさんは、寝る前には、「おやすみ」と言って一人一人の顔をみながら子供を抱きしめました。

妻は、今までにない穏やかな顔で「おやすみなさい」と言って微笑みました。

子供たちは「お父さん、おやすみなさい」と言って、ヒロシさんの体をぎゅっと抱きしめました。

ヒロシさんは「僕は、しあわせだなあ」と心から感じました。

ヒロシさんは、挨拶が心の扉を開くノックだと知り、驚きと感動を覚えたのでした。

ヒロシさんは、それから誰に対しても優しく丁寧に挨拶をするようになり、職場でも家庭でも、最高の人間関係に恵まれたのでした。



ヒロシさんの悩み

山田ヒロシさんは、妻と二人の子供と一緒に暮らしていました。しかし、最近仕事が忙しく、家族で会話する機会も減り、妻は不満でいっぱいでした。

ある日曜日、ヒロシさんが午前中寝ていると、妻はたまりかねて、「休みの日くらい子供たちを遊びにつれていってよ」といいましたが、ヒロシさんは「残業続きで、くたくたなんだ。休みの日くらい、ゆっくりさせてくれよ」と、不満をぶちまけました。妻も、「私だって、家族のために一生懸命パートしながら、家事をやっているのよ、あなたは家族をほったらかしで、いつも文句ばかり」と、イララしてその場をさりました。

ヒロシさんと妻の仲は次第に険悪になり、顔を見るとお互いに文句を言って喧嘩になるか、無視するかで、家族関係が希薄になり、ヒロシさんは妻との関係に危機感を感じていました。

思わぬ気づき

ある日、ヒロシさんは人事異動で新しい部署につき、慣れない業務に追われて、職場の同僚たちに協力してもらわないと大変な状況になりました。

そこで、ヒロシさんは朝、職場につくと自分の方から積極的に同僚に挨拶をするように務めました。最初はためらいがあったのですが、たとえ相手が年下でも、自分の方から積極的に挨拶をしました。

すると、言葉を交わしたことがない同僚も気持ちよく挨拶を返してくれました。

やがて、職場の誰とでも仲良く会話ができるようになりました。

そうなると、ヒロシさんが分からないことは何でも教えてくれて、作業にてこずっていると、進んで手伝ってくれるようになったのです。

ヒロシさんは、新しい職場に行くのがだんだん楽しくなり、同時にとても簡単だけど、すごい挨拶パワーを実感したのでした。

その時、ヒロシさんは、ふと最近険悪な仲の妻に挨拶を試してみようと思いつきました。

